

【神奈川区】令和 5 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 5 年 6 月 12 日 午前 10 時 45 分 ～ 午前 11 時 27 分
場 所	神奈川区役所 本館 5 階大会議室
出席者	<p>【座長】田中 紳一 議員</p> <p>【議員：5 名】藤代 哲夫 議員、中山 大輔 議員、小松 範昭 議員、宇佐美 さやか 議員、竹内 康洋 議員</p> <p>【神奈川区：24 名】日比野 政芳 区長、松本 貴行 副区長、田畑 和夫 担当理事、野田 晴子 福祉保健センター担当部長、西嶋 祐一 神奈川土木事務所長、藤沢 直樹 災害対策担当部長 ほかに関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和 5 年度 神奈川区運営方針 2 令和 5 年度 神奈川区編成予算総括 3 令和 5 年度 神奈川区自主企画事業
発言の 要 旨	<p>【議題 1～3】</p> <p>宇佐美議員 9 頁「かながわ子育てかめっ子支援事業」の「(4) すくすくかめっ子事業」について、最近の利用状況について伺いたい。</p> <p>長尾こども家庭支援課長 すくすくかめっ子事業の利用状況については、多いところで一日 10 組、少ないところで 2 組程度です。47 か所で実施しています。</p> <p>宇佐美議員 このような場を活用し、ほかのお子さんと触れ合うことも大切であるし、その方の状況もすぐ分かるのではないかと思う。本事業について、様々な機会を活用し、周知していきたい。</p> <p>宇佐美議員 15 頁「ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業」、「ふれあい活動支援事業」について、どのような活動をしているのか。</p> <p>栗山福祉保健課長 「ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業」については、新たに 75 歳以上となったひとり暮らしの方、新たに区内に</p>

転居されてきた 75 歳以上のひとり暮らしの方、75 歳以上のみの世帯になった方を中心に、見守り・訪問を行っています。年間約 3,000 人の方を訪問しています。必要に応じ、区役所や地域ケアプラザの窓口をご案内し、相談支援を行っています。

「ふれあい活動支援事業」については、年齢ではなく、地域でお困りの可能性がある、高齢の方・障害のある方・外国人の方・お子さんなどを各地区社会福祉協議会が主体となり、訪問しています。何か問題等があった場合は、区役所や地域ケアプラザにつなぎ、対応をしています。

宇佐美議員 「ふれあい活動支援事業」は、高齢者だけでなく、全世帯を対象にしているということによろしいか。

栗山福祉保健課長 「ふれあい活動支援事業」は、特に 75 歳以上という制限はありません。

宇佐美議員 本当に、心配な方が増えている。何度訪問しても、お子さん一人がインターフォンで対応するご家庭もある。少し心配に感じる世帯についても、本事業につないでいけばよいという認識でよろしいか。

栗山福祉保健課長 こちらにおつなぎいただき、対応していきたいと思えます。

宇佐美議員 17 頁「障害者支援事業」の「(4)ひきこもり状態にある人への支援」について、ひきこもりの状態にある方の数は把握しているか。

近藤高齢・障害支援課長 神奈川区では、昨年度合計 34 件の相談対応を行っています。人数については、平成 30 年の「横浜市子ども・若者実態調査」によると、15～39 歳及び 40 歳～64 歳で、市内で約 27,000 人方がひきこもりの状態にあると推計されています。区の人口比で推計しますと神奈川区では約 1,900 人となります。

宇佐美議員 このような方々に対し、区としてどのような支援を検討しているのか。

近藤高齡・障害支援課長 相談につながった方に対し、講演会の形で、支援や相談窓口があることをお知らせするなど、アウトリーチ的支援を考えています。

宇佐美議員 周囲の方が気づくことが大切であると思う。

宇佐美議員 21 頁「かながわ脱炭素化推進事業」の「(1)エコ活啓発事業」について、神奈川大学との連携講座の対象者について教えてほしい。

佐藤区政推進課長 区内在住・在勤の方ならどなたでも受講できます。講義については、環境に関連する講義を各先生にお願いしています。

宇佐美議員 脱炭素や地球温暖化の専門の先生が講義をしてくれるということか。

佐藤区政推進課長 理学科や機械工学科の先生により、環境やSDGsも含めた、地球のためになるお話を区民向けに組み立てていただきます。

宇佐美議員 重要な課題であるので、できるだけわかりやすくお話していただきたいと思う。

宇佐美議員 22 頁「地域福祉保健活動推進・支援事業」の「(2)地区別計画の推進」について、より小さな規模での会議を持ちたいという印象を受けたが、町内会単位や自治会単位で行う認識でよいか。

栗山福祉保健課長 会議自体はこれまでと同様に地区別で行います。一方で、アドバイザーの派遣については、これまで地域ケアプラザ単位で派遣していましたが、地区ごとの地域性に対応するため、今年度は地区別に派遣することを考えています。

宇佐美議員 地域ごとに応じた、細かなアドバイスなど、より丁寧に対応して行ってほしい。

宇佐美議員 34 頁「地域防災力向上事業」の「(2)区役所災害対応力の強

化」の「(イ)風水害避難場所運営訓練」について、7月実施予定とあるが、時期を早める方が良いと思う。

茨総務課長 昨今の状況を踏まえて、訓練については、できるだけ年度の早い時期に前倒しする形で対応させていただいてきております。引き続き、最大限の努力をして進めてまいります。

宇佐美議員 訓練を重ねることで迅速な対応ができると思う。

宇佐美議員 35頁「地域防災力向上事業」の「(5)福祉避難所関連事業」「オ HUGカードの作成と訓練の実施」について、大変良いものであるので、3月に限らず、訓練を実施してもらいたい。

近藤高齢・障害支援課長 今年度作成するHUGカードについては、区役所だけではなく、福祉避難所に登録いただいている施設の方からもご意見をいただきながら作成していく予定です。

宇佐美議員 早く良いものを作って、様々な機会を活用し、実用的に使ってほしい。

藤代議員 防災・減災に関し、高齢者・障害者・子育て世代の方、災害時のペットなど、様々な取組を行っているが、外国の方への支援も重要であると感じている。国際交流ラウンジもできるので、外国人支援について、神奈川区としてどのように取り組んでいくのか教えてほしい。

江成地域振興課長 国際交流ラウンジの開設を契機として、区の様々な業務と国際交流ラウンジを連携させていきます。災害時の対応についても、所管課と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

藤代議員 「安全安心なまちづくり」の一つのテーマとして、取り組んでほしい。

藤代議員 「2027年国際園芸博覧会」については、「GREEN×EXP02027」が正式略称となっている。ぜひ行政内部、対外的に区民の皆さんに広報する

	<p>際には、その名称を使ってほしい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	